

東京都豪雨対策アクションプラン（概要版）

令和2年1月24日
都市整備局
建設局
下水道局

【これまでの取組】

- ・ 都では、東京都豪雨対策基本方針に基づき、甚大な浸水被害が発生している地域について重点エリアを定めて、河川や下水道の貯留施設の整備等を推進
- ・ 本方針では、東京2020大会開催都市として、豪雨被害から人々の生命の安全を確保し、浸水被害の軽減を図るため、2020年までの具体的な取組を明示

【今般の記録的降雨】

- ・ 令和元年台風第19号により、都内でも記録的な降雨に見舞われたが、**これまで整備してきた施設が浸水被害軽減に一定の効果を発揮**
- ・ 今回は一定の効果が発揮したものの、激甚化する豪雨災害を踏まえ、施設整備を着実に推進するとともに、新たな検討を加えた更なる取組の加速・強化が必要

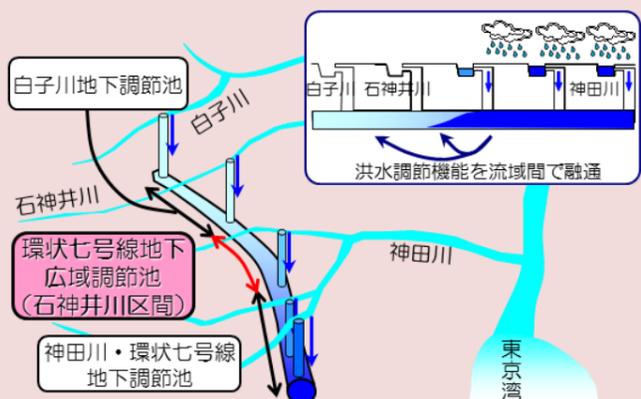
【アクションプランの策定】

- ・ 今般の台風被害等を踏まえ、豪雨対策基本方針に基づく**2020年以降の取組について、これまでの取組の着実な推進と加速や新たな取組による強化、令和元年10月台風第19号を踏まえた緊急対応を取りまとめた概ね5年間の行動計画**を策定

これまでの取組の着実な推進と加速

- ・ **河川整備の更なる推進**
環状七号線地下広域調節池等の8施設の整備〔R7年度までに稼働〕：図1
新たな調節池の事業化に向けた検討〔H30年度～〕
- ・ **下水道整備の更なる推進**
渋谷駅東口・杉並区荻窪地区の整備〔東京2020大会前に取水〕など
- ・ **流域対策の促進・見える化**
各区市の努力目標値の設定・進捗状況公表〔R元年度～〕
- ・ **ソフト対策の推進**
想定し得る最大規模の降雨を対象とした浸水予想区域図の改定〔R2年度まで〕

図1 <環状七号線地下広域調節池>



時間100ミリの局地的短時間の豪雨にも効果を発揮

- ・ **河川施設における緊急の取組**
多摩河川における局所改良や監視カメラ等の設置〔R元年度～〕：図2
- ・ **下水道施設における緊急の取組**
樋門等の施設改良及び操作情報等の共有〔R元年度～〕：図3

図3 <樋門等の施設改良>



新たな取組による強化

- ・ 対策を強化するエリアの拡大を検討
75ミリ対策地区等〔R元年度～〕：図4
- ・ **流域対策モデル事業**
重点的に貯留浸透を実施するエリアを選定〔R2年度～〕

令和元年台風第19号を踏まえた対応

図2 <河川監視カメラ>

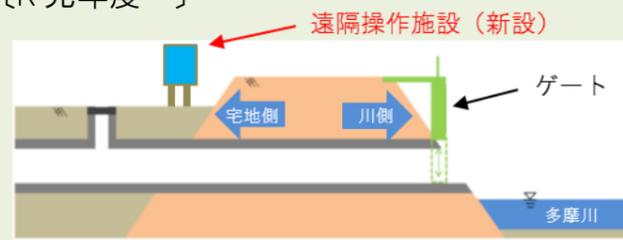


図4 <シミュレーション技術の活用>



50ミリ降雨対策により、
75ミリ降雨に対して浸水面積の低減を確認